

令和6年度 住まい環境整備モデル事業
【課題設定型・事業者提案型】

提案内容の概要

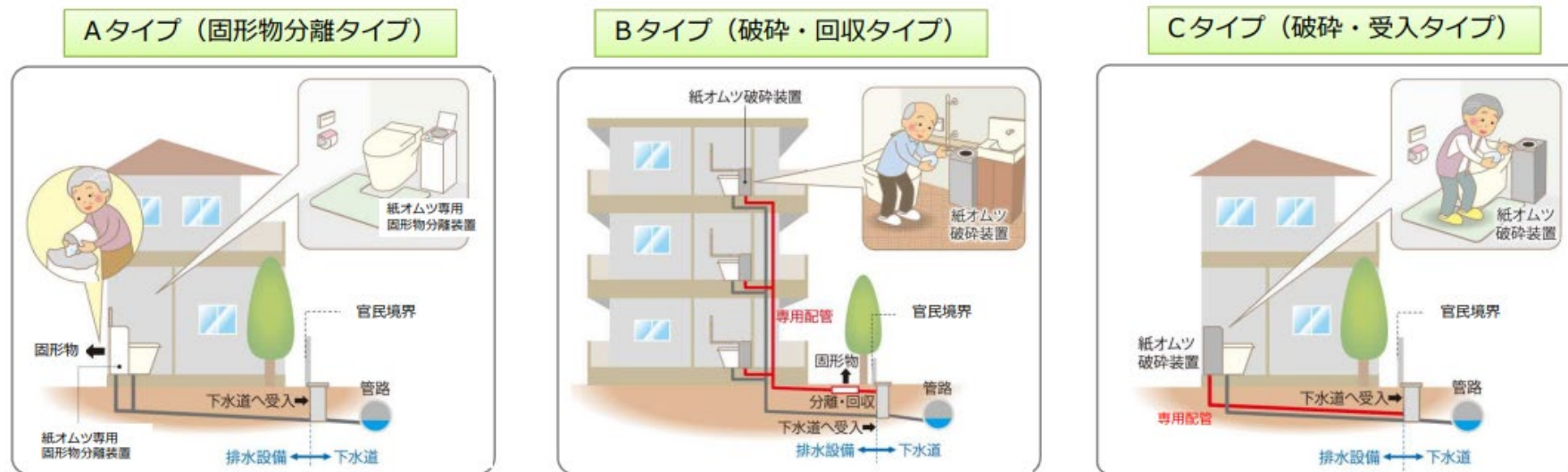
事業名称：在宅介護等の紙オムツごみ地域回収からはじまる多世代参加型地域コミュニティ形成事業

代表提案者：株式会社LIXIL

共同提案者：社会福祉法人こうほうえん

1. これまでの取組

LIXILは2018年から国交省下水道への紙オムツ受入に向けた検討プロジェクトに参画し、紙オムツ処理機Bタイプ(破砕・回収タイプ)を開発中。



		Aタイプ (固形物分離タイプ)	Bタイプ (破砕・回収タイプ)	Cタイプ (破砕・受入タイプ)
下水道への 受入対象	汚物	○	○	○
	紙オムツ	×	×	○
紙オムツ破砕の有無		×	○	○

LIXILの取組

1. これまでの取組

LIXIL紙オムツ処理機の特徴は、破碎機構に加え、ポリマー処理による化学的脱水と、オムツ成分とし尿分の分離による物理的脱水。



複数の高齢者介護施設にて実証実験を実施。処理機導入により、紙オムツ廃棄量の削減や、施設内の二オイ軽減効果などを確認。

1. これまでの取組

こうほうえんは鳥取県米子市を中心拠点に、高齢者介護施設や保育園など複数の福祉事業を運営。利用者に寄り添い、地域に根差した活動を推進中。

■ 社会福祉法人こうほうえん 概要

設立	1986年
事業所数	120か所 鳥取県と東京都で介護・福祉サービスを展開 地域に根差した総合的サービスを提供
事業所総面積	107,648m² ※東京ドーム2.3個分 鳥取県内で大型複合施設を5か所運営 2009年から拠点を東京にも拡大
地域貢献活動数	2,256件 介護施設を小学校の教育の場として活用 職員が地元自治会の清掃活動に参加 など



特別養護老人ホーム
よなご幸朋苑



キッズタウン
かみごとう



地域で暮らす子どもから高齢者までを多面的に支える体制を構築

【こうほうえん理念】

わたくしたちは 地域に開かれた 地域に愛される 地域に信頼される
こうほうえんを目指します

米子市では超高齢化が進行する中、在宅介護と紙オムツごみの処理に着目し、3つの点を課題として設定した。

課題 1

在宅介護を受ける高齢者の紙オムツごみ出し負担が大きく、保管時のニオイ問題など、すまい手のQOL低下に繋がっている。

(現状は介護ヘルパーがごみ収集時間に合わせて自宅訪問し、代理でごみ出しを行う等で対処)
※米子市では令和6年6月～令和7年3月まで「福祉事業者ごみ出し拠点整備事業（実証事業）」を実施。

課題 2

紙オムツごみは年々増加し、ごみ処理費用や回収・焼却処理時の環境負荷が年々増加している。

※米子市では令和6年度「SDGs未来都市」計画にて、下水道を活用したごみ処理の最適化について提案実施。

課題 3

在宅介護者や被介護者の外出機会が制限されており、新たなコミュニティ形成の機会が減少している。

3. 提案内容

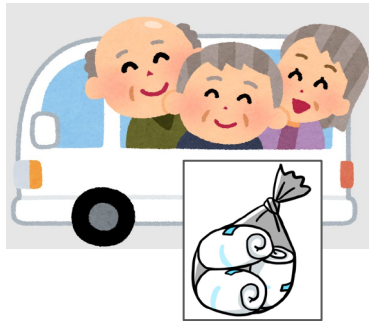
3つの課題を解決すべく、地域のすまい手が参画し、紙オムツごみをこうほうえんの施設に集約し、減量化処理するしくみを提案する。

在宅介護家庭にオムツごみ専用分別BOXを用意
※使用する紙オムツは本事業から提供

提案 1

紙オムツごみ出し支援

デイサービスや訪問介護の移動に合わせて紙オムツごみを回収し、こうほうえん内の回収BOXへ集約。



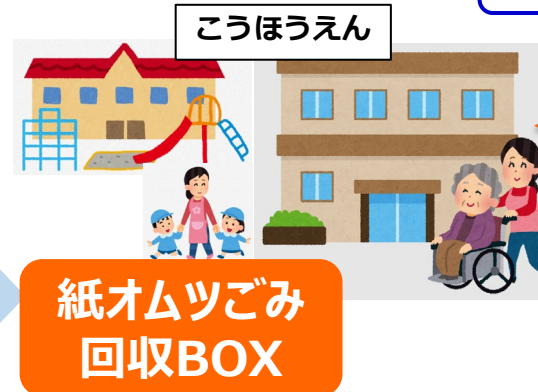
提案 2

紙オムツごみ減量化

紙オムツ処理機で回収した紙オムツごみを破碎・脱水処理し、減量化を図る。



紙オムツ処理機



提案 3

コミュニティ形成

多世代が集まるこうほうえん内の場所に回収ボックスを設置し、利用者間の交流を促進する。※次項詳細あり

3. 提案内容

こうほうえんが有する幅広いリソースを活用し、紙オムツごみ回収BOXを起点とした、地域の新たな多世代コミュニティ拠点を目指す。

ヘルスケアタウンよなご

アザレアコート

(デイサービス、訪問介護事業所、レストラン等の複合施設)



キッズタウンかみごとう



キッズタウン第2保育園



紙オムツごみ回収BOX



グループホームかみごとう

特別養護老人ホーム よなご幸朋苑



ケアハウス よなご幸朋苑

介護サービス利用者、保育園利用者など多世代が集まる場所に回収BOXを設置し、多世代の利用を想定することで、利用者間の交流を促進する。

4. 期待される効果

本事業で取り上げる課題は、多くの他地域でも顕在化しており、下記3つの効果が認められると、他地域への水平展開も見込める。

効果1：紙オムツごみ出し支援

- ・在宅介護高齢者の紙オムツごみ出し負担軽減
- ・紙オムツごみ保管時のニオイ軽減によるQOL向上

効果2：紙オムツごみ減量化

- ・紙オムツごみ量削減によるごみ処理費用、環境負荷低減
(重量比50%程度の削減見込み)

※紙オムツ減量化処理はオムツリサイクルの促進にも有効（本事業ではリサイクルは実証対象外）

効果3：コミュニティ形成

- ・高齢者や多世代の新たな出会いやコミュニケーション機会の増加
- ・すまい手の地域や環境に対する貢献意識の醸成

5. 検証方法

利用者へのアンケート調査や紙オムツごみ重量測定等を実施することで、本提案による効果を確認する。

検証 1 : 紙オムツごみ出し支援

- ・在宅介護・被介護者および介護事業者へのアンケート調査
(ごみ出し負担軽減やニオイ改善効果、分別回収時の負担等について)

検証 2 : 紙オムツごみ減量化

- ・装置処理前後の紙オムツごみ重量測定
 - ・回収した紙オムツごみに含まれる異物の確認
- ※紙オムツ処理機の装置排水水質分析も実施し、排水装置としての妥当性も確認

検証 3 : コミュニティ形成

- ・紙オムツごみ回収BOX利用者へのアンケート調査
(コミュニケーション機会の増加や、地域や環境への貢献意識等について)